ヨーロッパモビリティウィーク&カーフリーデー2019

EUROPEAN MOBILITY WEEK

16-22 SEPTEMBER

日本国内実施状況報告

「移動の多様性
～いろいろな方法で移動しよう～」

2019

ヨーロッパモビリティウィーク&カーフリーデー2019

モビリティウィーク&カーフリーデー（9/16-22）は、持続可能な社会の構築にむけ、交通を切り口に、まちづくり、環境、生活など考える環境交通週間です。2019 年は、過去最多の世界 3195 都市、日本国内からは、１３都市が参加しました。奈良市が今年初参加となりました。

全国 １３都市で開催しました！

仙台市・さいたま市・横浜市・逗子市・松本市・金沢市
福井市・豊橋市・京都市・大阪市・奈良市・福山市（初）・那覇市

EMW&CFD2019 参加都市と実施形態の概要				
	主催団体	都市名	主催	
			行政	市民
1	交通を考える研究会	仙台市		●
2	さいたまカーフリーデー実行委員会	さいたま市	●	●
3	NPO法人横浜カーフリーデー実行委員会	横浜市		●
4	歩行者と自転車のまちを考える会	逗子市		●
5	松本市ノーマイカーデー推進市民会議	松本市	●	●
6	金沢市	金沢市	●	
7	カーフリーデーふくい実行委員会	福井市		●
8	豊橋市・豊橋市地域公共交通活性化推進協議会	豊橋市	●	
9	自転車文化タウンづくりの会	大阪市		●
10	京都カーフリーデー実行委員会	京都市		●
11	モビリティウィーク&カーフリーデーなら実行委員会	奈良市	●	●
12	ふくやまサイクルシティ・プロジェクトNEW!	福山市		●
13	なはモビリティウィーク&カーフリーデー実行委員会	那覇市		●

© CFDJapan

仙台市：交通を考える研究会

10回目参加

交通を考える研究会は、「いつか仙台でも本格的なカーフリーデーを！」をテーマに掲げて、毎年活動しています。

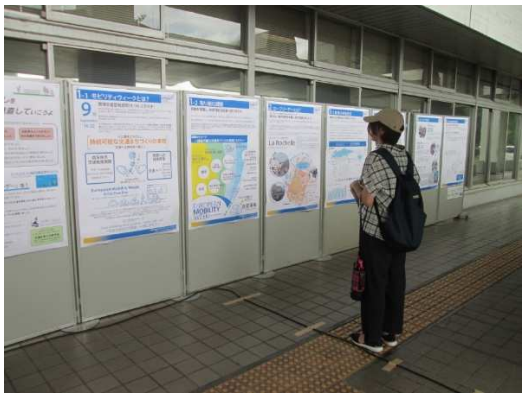
今年は、例年通り、仙台市の主催する「魅力いっぱい！交通フェスタ2019」へブース出展しました。

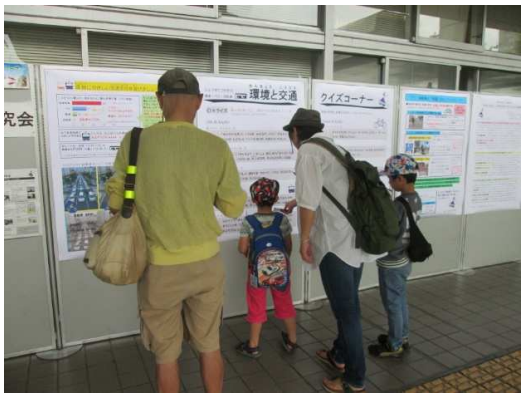
「環境と交通クイズコーナー」では、バス・地下鉄・自転車などの上手な利用について、楽しいクイズを通して、多くの市民の皆さんに学んでもらいました。

また、モビリティウィーク&カーフリーデーのポスター展示を行い、ＰＲを行いました。

◆モビリティウィークの取組み◆

9/14
「魅力いっぱい！交通フェスタ 2019」にブース出展





「環境と交通」クイズコーナーの掲示 @「魅力いっぱい！交通フェスタ 2019 」

© CFDJapan

イベント・プロジェクト賞受賞！　モビリティウィーク&カーフリーデー日本アワード 2019

さいたま市：さいたまカーフリーデー実行委員会

13 回目参加

さいたま市では、自動車に過度に依存しない交通体系の実現に向けた取り組みの一環として、「さいたま市総合都市交通体系マスタープラン基本計画」に基づき、カーフリーデーを実施しています。

今年は、1日実施へ縮小したが、「歩行や自転車にやさしい街“さあ一緒に歩きましょう”」のテーマの下、例年同様の約2万人が来場しました。

通行止めとなった大宮駅西口周辺道路では、オープンカフェが設置され、人々がゆっくり憩い、クルマのない道路・都市空間を楽しむ一方、数々のブースでは、行政、地元企業、商店会、NPO、大学等が連携し、まちづくり、環境、交通の様々なとりくみが紹介され、持続可能な交通まちづくりについて考える機会が創出されました。

特に、近年はこどもたちの学びの場の提供に力を入れ、近隣小学校７校へチラシ配布を行い、小学生の職業体験を実施するほか、「ノーマライゼーション・アート・コミュニティー（アートを通じて大宮地域で活動する子どもや大人の日頃の活動の成果を発表・展示）」とのコラボにより、子どもまつりや、近隣小学校の吹奏楽など各種ステージ・パフォーマンスが行われ、たくさんの子供たち・親子連れが参加しました。

モビリティウィークでは、カーフリーデーのほか、例年通り、マイカー通勤を控えてもらう「ノーマイカーデー」や「バスの日」が実施されました。

◆モビリティウィークの取組み◆

9/20	バスの日/ノーマイカーデー
9/21	カーフリーデー

カーフリーデー当日の様子　　会場の様子（左）　　車道を歩く子どもたち（右）

© CFDJapan

横浜市：NPO法人横浜カーフリーデー実行委員会

16回目参加

NPO 法人横浜カーフリーデー実行委員会は、横浜を人と環境にやさしい街にすることを目標に、毎年、カーフリーデーを実施しています。

例年、日本大通りを交通止めにし、横浜公園をイベント会場として盛大に行われています。

カーフリーデー当日には、今年も、交通や環境だけにとどまらず、まちづくりから健康まで幅広いテーマに富んだ展示、特に SDGs に関する取り組みもあり、楽しみながら学べるイベントが実施され、こどもから大人まで多くの市民が参加しました。

会では、幼いころから環境問題や交通に関する知識・理解を深めることが重要と考え、こどもたちへの普及啓発に力を入れていますが、今年も近隣６区の小学校へチラシを ４ 万枚配布しました。そして、例年通り、市営地下鉄の駅構内でのポスター掲示や、市営地下鉄・市営バスの全車両でポスターが中吊りされるなど、事前の周知を徹底し、継続的な啓発を行っています。

さらに、去年に引き続き、市の歴史資産である三渓園や横浜市電保存館と共催し、こどもの入園・入館無料の連携も図られました。

※NPO 法人横浜カーフリーデー実行委員会は、今年度で 16 年に及ぶ活動を終了しました。

◆モビリティウィークの取組み◆

9/22　カーフリーデー

カーフリーデー当日の様子

日本大通り/パレードの様子（右）　　横浜公園/展示ブースの様子（左）

© CFDJapan

逗子市：歩行者と自転車のまちを考える会

９年目（市民団体参加７回目）

歩行者と自転車のまちを考える会は、逗子市まちづくり基本計画に掲げられた［交通：歩行者と自転車優先のまち］を実現するために活動している市民団体です。

逗子市歩行者と自転車を優先するまちアクションプランのなかの重点プログラム～JR 逗子駅周辺をもっと歩きやすく!もっと走りやすく!もっと出かけやすく！～の実現を目指して2009年から、ヨーロッパモビリティウィーク＆カーフリーデーに参加し、啓発イベントを行っています。（一時期、行政主催で実施されましたが、現在、市民主体で実施しています。）

カーフリーデー当日は、EMW&CFD 等のパネル展示のほか、逗子駅周辺商店街のまちなかポイントをめぐって景品がもらえる「まちなかポイント巡り」や交通アンケートなどを行いました。

約80名の市民のみなさんが参加し、逗子のまちなか交通やあるべき姿について意見を交わす良い機会となりました。

◆モビリティウィークの取組み◆

9/23　カーフリーデー

カーフリーデー当日の様子

逗子駅前広場のブース（左）　　まちなかポイントの景品交換（右）

© CFDJapan

松本市：松本市ノーマイカーデー推進市民会議

１６回目参加

松本市ノーマイカーデー推進市民会議は、事務局を松本市とし、地元企業・団体で構成されています。市民のノーマイカー運動に対する意識を啓発するとともに、車の利用をできる限り抑制し、徒歩、自転車および公共交通による移動を促進し、環境にやさしい持続可能なまちづくりを目標としています。

例年、カーフリーデーでは、松本城周辺道路のカーフリー化やトランジットモールの実施といった大規模な交通規制を実施してきましたが、今年は、５月に行われる「クラフトフェアまつもと」にあわせて実施されました。

そのため、今年のカーフリーデーは、「学都松本フォーラム」にノーマイカーデーブースを出展しました。バスのペーパークラフト体験等で楽しく交通について学べる機会を提供しました。

また、モビリティウィーク期間中には、バスの乗り方教室で、自動車以外の移動方法についての学習を実施したり、松本山雅ＦＣホームゲームにおけるＰＲを行い、車に依存しない社会について考えるきっかけづくりを行いました。

◆モビリティウィークの取組み◆

9/21・22　学都フォーラムへの出展
9/25　小学校でバスの乗り方教室、松本山雅ＦＣホームゲームにおけるＰＲ活動

＜関連＞
5/26　クラフトフェアに合わせたノーマイカーデー
10月　小学校２か所での乗り方教室実施

モビリティウィークの様子
ペーパークラフト/学都フォーラム（左）　　バスの乗り方教室（右）

© CFDJapan

金沢市：金沢市

３回目参加

金沢市では、第二次金沢交通戦略の目指す「公共交通優先のまちづくり」、「ネットワークでつなぐまちづくり」を市民に広く発信するとりくみの一つとして、カーフリーデーを実施しています。

カーフリーデー当日は、市役所庁舎前広場にて、金沢の公共交通や交通施策の紹介のほか、連節バスやタクシーの展示・乗車体験が実施されました。前面道路では、道路上を歩行者とバスの専用空間とするトランジットモールが実施され、キッチンカー・物販ブース・飲食スペースなどが設置され、たくさんの親子連れ等が来場しました。

また、モビリティウィーク期間中には、都心軸バス専用レーン時間帯拡大実験（17～22 日）なども実施され、所要時間の短縮が図られました。

◆モビリティウィークの取組み◆

9/17-22
　都心軸バス専用レーン時間帯拡大実験
9/21　カーフリーデー

カーフリーデー当日

連節バス試乗（左）　　会場の様子（右）

© CFDJapan

市民向けアピール賞受賞！　モビリティウィーク&カーフリーデー日本アワード 2019

福井市：カーフリーデーふくい実行委員会

13 回目参加

カーフリーデーふくい実行委員会は、NPO 法人 ふくい路面電車とまちづくりの会（ＲＯＢＡ）が中心となり、豊かで夢のある未来にむけて、人々が安心して利用できる路面電車やバスなどの公共交通（ホジロバ：歩行者・自転車・路面電車・バス）を活かしたまちづくりを目指し、活動を行っています。

今年も近年同様、9/17～24 を「モビリティウィークふくい」として福井駅前ビルにてパネル展示を、また 9/2～27 には「モビリティマンスふくい」として市立図書館での「公共交通図書特集コーナー」が設置されました。

カーフリーデー当日は、駅前広場ハピテラスにて、「クルマをおいてホジロバ交通（歩行者、自転車、路面電車、バス）で街に出よう！」をテーマに、例年実施の「ちょい旅（バス・電車のフリーキップを渡しまち歩きをしてもらうイベント）」、バスの乗り方教室、モビリティセンター、キッズバイク、カーフリーデー・ステージ、そして、「あおぞらえほんとしょかん in カーフリーデー」等、盛り沢山のイベント・企画が行われました。

今年も台風の影響がありましたが、会場にはたくさんの親子が参加し、公共交通優先のまちづくりについて楽しく考えるきっかけを提供できました。

◆モビリティウィークの取組み◆

9/17-24　パネル展
9/23　　カーフリーデー
◆モビリティウィーク期間外の取組み◆
9/2-27　モビリティマンスふくい 2019
（「公共交通図書特集コーナー」開催）

カーフリーデー当日の様子

キッズバイク（左）　　おあぞらえほんとしょかん（右）

© CFDJapan

豊橋市：豊橋市・豊橋市地域公共交通活性化推進協議会

７回目参加

豊橋市では、公共交通を普段から利用することの社会的意義を多方面から確認することを目的とし、豊橋市と豊橋市地域公共交通活性化推進協議会で実施しています。

今年は、近隣市、新しい事業者や複数の関係部署等と連携して取り組みました。

今年も、集客力の高い「豊橋まちなか歩行者天国」（はたらく車大集合！）と同時開催とし、カーフリーエリアを創出しました。

会場では、自転車魅力発見コーナー、「クールチョイス宣言」、コミュニティバス･UD タクシー乗車体験のほか、クイズなどを通して子どもから大人まで公共交通を楽しみながら学べる様々な展示・イベントが実施されました。また、今年は豊橋の漫画家とのコラボで市の交通政策やカーフリーデー等のパネル展示も行いました。

モビリティウィーク期間中には、では、近年継続して実施している図書館公共交通フェアのほか、クールチョイス（スマートムーブ）の普及、県境周辺事業者へのモビリティマネジメントなど幅広く啓発活動が実施されました。

◆モビリティウィークの取組み◆

9/15　カーフリーデー
9/14-23
図書館公共交通フェア
9/16-22
県境周辺事業者へのモビリティマネジメント（ニューズレター等）

カーフリーデー当日の様子

会場の様子（左）　　展示ブースの様子（右）

© CFDJapan

大阪市：自転車文化タウンづくりの会

8回目参加

自転車文化タウンづくりの会は“歩行者も自転車も安心して通行できる環境づくり”を求め、団体の趣旨に賛同するたくさんの方々を集めて、自転車で走行アピールを行っています。

「大阪モビリティウィーク＆カーフリーデー2019（御堂筋サイクルピクニック第 14回）」では、今年も、たくさんの賛同者たち(約300名)が、中之島→御堂筋→本町通→上町筋→中之島を自転車でアピール走行しました。（約6.2ｋｍ）

会場では、自転車に乗る楽しさとルールを知ってもらうために、トラックからの死角体験、自転車試乗会、サイクルサッカーなどが行われました。今年も、大阪府警察の協力を得て、交通安全トークショーや白バイ・パトカー乗車体験ができたり、あまりなじみのないサイクルサッカーを日本代表 VS ドイツ代表選手に実技してもらいました。

また、今年は、「あおぞらえほんとしょかん in カーフリーデー」も開設し、親子連れに SDGｓの趣旨を絵本を通じて学ぶきっかけをつくりました。

◆モビリティウィークの取組み◆

9/16　カーフリーデー
（御堂筋サイクルピクニック第 14 回）

カーフリーデー当日の様子

自転車アピール走行（左）　　あおぞらえほんとしょかん（右）

© CFDJapan

京都市：京都カーフリーデー実行委員会

７回目参加

京都カーフリーデー実行委員会は、行政・大学・民間など様々な団体と連携し、毎年、「身近な生活」と交通を関連させた取組みをおこなっています。

例年、カーフリーデーは、地元の交通事業者や企業の協力を得て、二条駅駅前広場にて大規模に実施されてきましたが、今年から、SDGｓの目標年である2030年､又2050年CO2排出実質ゼロ社会の実現を念頭にカーフリーデーイベントは実施せず、昨年までの実績や実験等で得られた知見を、検証を伴う社会実験により、通年で社会実装を目指すこととなりました。

そのため、今年は、モビリティウィーク期間中にヨーロッパモビリティウィークパネル展による啓発と、シェアサイクル「PiPPA」との連携により、市内のシェアサイクルのモニター調査や普及啓発のための利用料金割引を行い、シェアサイクルの有効性、また、市民の移動について検証しました。

◆モビリティウィークの取組み◆

9/16-22
EMW&CFD パネル展
シェアサイクル利用割引

モビリティウィークの様子

パネル展示（左）　　シェアサイクルの PR（右）

© CFDJapan

まちづくり貢献賞受賞！　モビリティウィーク&カーフリーデー日本アワード 2019

奈良市：モビリティウィーク&カーフリーデーなら実行委員会

２回目

モビリティウィーク＆カーフリーデーなら実行委員会は、奈良市（環境政策課）を事務局とした官民の諸団体で構成されています。

持続可能な社会への転換を目指す総合的な政策展開や、市の将来的な目標である、世界遺産エリアへのマイカー流入規制の実現にむけた啓発活動としてモビリティウィークが導入され、「奈良は車で来ない方が楽しい」、「車に乗らない方が暮らしやすい」を市民に体感してもらうために、カーフリーデーを実施しています。

２ 年目の今年は、「安全な歩行者と自転車」（モビリティウィークの今年のテーマ）を意識し、シェアバイクや自転車の乗り方啓発、自転車フォトラリーやウォーキングイベントなど、交通、環境、観光のブースや企画が一体的に展開されました。また、「SDGs」や「COOLCHOICE」の関連や連携もみられ、広く地球環境問題について啓発しました。特に、オープンワークショップ「あなたの住みたい“奈良”を描こう！～安全な歩行と自転車」では、「安全に歩いて・自転車で楽しめる奈良」をテーマに、奈良公園周辺での公共交通の導入や大宮通りでの自転車専用レーンの必要性などについて市民の多様な意見が得られ、将来のまちのイメージを共有しました。さらに、今年も、市長が参加することで、市民へより PR されました。

◆モビリティウィークの取組み◆

9/17-20　EMW&CFD パネル展
9/22　カーフリーデー

カーフリーデー当日の様子　カーフリーPR（左）　オープンワークショップ（右）

© CFDJapan

福山市：ふくやまサイクルシティ・プロジェクト

初参加

ふくやまサイクルシティ・プロジェクトは、自転車レンタル事業者や自転車の愛好家などで構成され、環境配慮・健康増進に加えて、より快適に安全に自転車で走行できる環境をめざす組織です。

このプロジェクトでは、各家庭に、自転車を利用することで、楽しく、家族が健康になり、家計や環境に優しいことをアピールし、多くの市民に活動へ参加してもらうこと、また、企業や行政へ、自転車による通勤通学が、快適で安全に継続できる環境を提言し、全体の健康増進、交通渋滞緩和、CO2 排出削減を目指します。

初回のカーフリーデー（「ふくやまシティライド 2019」）は、好天気に恵まれ、アーバンコースとグリーンラインコースの２コースを設けて、市民のみなさんと自転車でアピール走行しました。市内の魅力を再発見しながら、自転車移動とまちを考えるきっかけづくりとなりました。

◆モビリティウィークの取組み◆

9/16 カーフリーデー
ふくやまシティライド 2019

カーフリーデー当日の様子
サイクリング（左）　　EMW パネル展示（右）

© CFDJapan

那覇市：なはモビリティウィーク&カーフリーデー実行委員会

13回目参加（市民団体参加３回目）

なはモビリティウィーク＆カーフリーデーは、３年前まで、「那覇市交通基本計画」における「交通に対する意識改革」を図る重要な取組みの一つとして行政で実施されていましたが、昨年度、これまで以上に市民が自らクルマに頼りがちな生活と公共交通のあり方を考えることを推進するため、民間主体での運営へと移行しました。

今年のカーフリーデーは、今までは国際大通りのトランジットモール（毎週日曜開催）に合わせ、クールチョイスイベントと同時開催として実施されてきましたが、今年は場所を変え、美栄橋公園と前面道路を会場としました。

当日は、レンタルサイクルや電動キックボードなどの交通体験や、環境絵本図書館（「あおぞらとしょかんinカーフリーデー」全国4都市共通イベント）が予定されていましたが、あいにくの台風により、完全中止となりました。

◆モビリティウィークの取組み◆

9/22　カーフリーデー

© CFDJapan

EUROPEAN MOBILITY WEEK
16-22 SEPTEMBER

ヨーロッパモビリティウィーク&カーフリーデー2019

ヨーロッパモビリティウィークカーフリーデー
日本担当事務局

一般社団法人 カーフリーデージャパン

東京都北区田端2-4-19

電話：03-6914-3404